岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川　沼田川水系　栃木川　通常砂防事業に伴う設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	B-46-2	調査位置	広島県東広島市河内町	北緯	34° 30' 42.5231"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和3年 6月28日～ 令和3年 6月30日	東経	132° 48' 19.8111"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 261.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	53° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D-0型 / エンジン：ヤンマーNFD-10型 / ポンプ：東邦製BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	261.06	0.45	礫混じり砂		暗茶								細粒砂主体の表土。φ0.5～3cm程度の亜角礫や植物の根を含む。	6/29 無し 0.63
	259.86	1.65	玉石礫混じり砂		青灰								砂は中～粗砂主体で，シルトの粘性は低い。φ1～7cm程度の亜角礫を含む。φ7.5～10cm程度の硬質な花崗岩質の玉石を含む。	
2				風化花崗岩	灰茶	w3	h3	C	IV	c	CL		粗粒部と細粒部を混在する花崗岩。全体的にDM相当の花崗岩であるが，一部CL級を呈す部分も確認できる。GL-2.00～2.90m，3.00～3.65m間はDM級，を呈する。DM級部分では指圧で崩れるが，CL級部ではハンマーの打撃で容易に割れる。	
						w4		D	V	d	D			
3						w3		C	IV	c	CL			
	257.86	3.65				w4		D			D			7/1 3.65
4				花崗岩	褐灰～青灰	w3	h2	C	III	b	CL		粗粒部と細粒部を混在する花崗岩。全体的に硬質で，GL-3.65～4.00m間はCL級で，GL-4.00～5.40m，5.80～6.00m間ではCM級，GL-5.40～5.80m間ではCH級を呈する。CL級部ではハンマーの軽打で純い金属音がし，CM～CH級部ではハンマーの軽打で金属音がする。縦～斜めに亀裂が発達している。	
5						w2		B	II		CM			
6	255.51	6.00									CH CM			
7														
8														
9														
10														
11														

標準貫入試験

深度	N値	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	13	13 / 300		
1.45				
2.15	36	36 / 300		
2.45				
3.15	26	26 / 300		
3.45				
4.00	50以上	貫入不能		
5.00	50以上	貫入不能		
6.00	50以上	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
6/28			打込み打込みレート	0	0	0	W1/0	0
	25.00	66／ケーシング		25	90			
				75	105			
6/29			φ			0	W2/5	1
	38.00	66	W/D	125	120			
6/30								